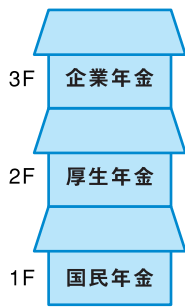


あなたの年金 How much?

人生90年の日も遠からず実現しそうです。
先立つものがなければ、楽しい老後は送れません。
将来いくらぐらい年金を受け取れるか把握しておきましょう!



トヨタすまいるライフ
ファイナンシャルアドバイザー
(NPO法人日本FP協会認定)
石井 亘



老後給付される年金

日本の年金制度は建物にたとえられ、サラリーマンの場合2階建構成になります。
20才以上の国民全員が保険料の納付を義務付けられている国民年金が1階部分、2階部分が厚生年金にあたり、その上に企業独自の企業年金がある場合があります。
配偶者は、保険料の負担はなく、国民年金に加入しています。

年金とは?

何歳になったらもらえるの?

国民年金

基本的に25年以上加入していれば、65才から全ての人が受給できます。但し、サラリーマンの妻が保険料を納めなくても払ったものとみなされる制度に改定してから、まだ20年経過していないので、それ以前に未納となっていないか、カラ期間を事前に確認して下さい。
厚生年金
原則、1ヶ月しか加入期間がなかったとしても受給できます。以前は、60才から支給開始でしたが、年金改革により、生年月日で受取り開始年齢が違います。

生年月日		もらえる年齢	
男性	女性	報酬比例部分	定額部分
昭和30.4.2～昭和32.4.1生まれ	昭和35.4.2～昭和37.4.1生まれ	62歳から	65歳から
昭和32.4.2～昭和34.4.1生まれ	昭和37.4.2～昭和39.4.1生まれ	63歳から	65歳から
昭和34.4.2～昭和36.4.1生まれ	昭和39.4.2～昭和41.4.1生まれ	64歳から	65歳から
昭和36.4.2以降生まれ	昭和41.4.2以降生まれ	65歳から	65歳から

例えば、昭和34年3月15日生まれの男性の場合
厚生年金の報酬比例部分を63歳から、定額部分は65歳から給付されます。

以上、簡単に説明しましたが、一度御自身で、試算されたいかがでしょうか。「老後なんて、まだ先:」と思っても避けて通ることができないのは事実。総務省の統計で、老後の生活費の平均は、約24万5千円です。豊かな老後には、36万円必要と言われています。住宅購入でほととされるのではなく、明るいシルバークライフに向けて、自助努力しましょう!

年金についての
お問合せは

社会保険業務センター
TEL:03-3334-3131

社会保険庁Webサイト
http://www.sia.go.jp/

サラリーマンの年金を試算してみよう!

①国民年金

1階部分

給与に関係なく、加入年数で年金額が決まります。

保険料は収入に関係なく一律。払った期間に応じて年金額が決まります。原則25年以上加入、46歳が上限。

※未納期間は除く

加入年数	月額受取
25年 →	41,000円
30年 →	50,000円
35年 →	58,000円
38年 →	63,000円
40年 →	66,000円

②老齢厚生年金

2階部分

勤続年数と生涯平均給与額で(平均標準報酬額)※で決まります。

※給与明細に記載。額面ではありません。

厚生年金の加入期間

×

生涯平均給与月額

×

給付乗率 0.005481 (2004年度)

×

物価スライド率 0.988 (2004年度)

例えば 生涯平均給与50万円又は
40万円の場合で試算してみましょう

サラリーマン 50万円 → 102,890円/月
38年勤続 40万円 → 82,310円/月

①+②= 65才からもらえる年金額
さて、あなたの年金は、How much?

例えば サラリーマン、38年勤続で平均給与50万円の場合

① 63,000円 + ② 102,890円 = 165,890円
国民年金 老齢厚生年金

1ヶ月 165,890円の年金で老後は大丈夫??

貴方はいくら不足してますか?
1日も早く貴方に適した上積み計画をたてましょう。